

宮城県農業土木工事施工管理基準  
新旧対照表

平成27年10月

宮城県農林水産部





改正後	現 行
<p>(4)～(11) 【略】</p> <p>5. 用語の定義 【略】</p> <p style="text-align: center;">宮城県農業土木工事施工管理基準実施要領</p> <p>1. 総則～3. 施工管理の細目 【略】</p>	<p>(4)～(11) 【略】</p> <p>5. 用語の定義 【略】</p> <p style="text-align: center;">宮城県農業土木工事施工管理基準実施要領</p> <p>1. 総則～3. 施工管理の細目 【略】</p>

第2項 直接測定による出来形管理

工種		項目	管理基準値(mm)	(参考)規格値(mm)	測定基準
1 共通 工事	掘削	基準高 (V)	± 65 [削る。]	± 100 [削る。]	[略]
		幅 (W)	[略]	[略]	
		法長 (L)	[略]	[略]	
		施工延長	[略]	[略]	

管理方式			測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの(様式2-1、2-2)	結果一覧表によるもの(様式3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	[略]	[略]	[略]	[削る。]

盛土 ~ オープンケーソン [略]

工種		項目	管理基準値(mm)	(参考)規格値(mm)	測定基準
1 共通 工事	栗石基礎	幅 (B)	栗石基礎、砕石基礎	± 130	[略]
			砂基礎、均しコンクリート	± 65	
	砕石基礎	厚さ (T)	栗石基礎、砕石基礎、砂基礎	± 50	
			均しコンクリート	± 30	
砂基礎	厚さ (T)	均しコンクリート	± 13	± 20	
均しコンクリート	施工延長			[略]	

第2項 直接測定による出来形管理

工種		項目	管理基準値(mm)	(参考)規格値(mm)	測定基準
1 共通 工事	掘削	基準高 (V)	± 65 <u>-(±65 - ±130)</u>	± 100 <u>-(±100 - 200)</u>	[略]
		幅 (W)	[略]	[略]	
		法長 (L)	[略]	[略]	
		施工延長	[略]	[略]	

管理方式			測定箇所標準図	摘要
管理図表によるもの(様式2-1、2-2)	結果一覧表によるもの(様式3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	[略]	[略]	[略]	<u>( ) 内の値は河川土工の場合。</u>

盛土 ~ オープンケーソン [略]

工種		項目	管理基準値(mm)	(参考)規格値(mm)	測定基準
1 共通 工事	栗石基礎	幅 (B)	± 130 (±65)	± 200 (±100)	[略]
			砕石基礎	± 30	
	砂基礎	(± 13)	(± 20)		
	均しコンクリート		[略]		

管理方式			測定箇所標準図	摘 要
管理図表によるもの(様式2-1、2-2)	結果一覧表によるもの(様式3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	[略]	[略]	[略]	管水路の基礎は「8 水路工事の管水路基礎(砂基礎等)」による。

コンクリート付帯構造物 コンクリート基礎 コンクリート側溝 コンクリート管渠 横断構造物 コンクリート擁壁 その他上記に準ずるもの ～ 鉄筋組立 [略]

2 法面保護工事 ～ 7 農道工事 [略]

8 水路工事

開水路(現場打) ～ 管水路(硬質ポリ塩化ビニル管) [略]

工種	項目	管理基準値(mm)	(参考)規格値(mm)	測定基準
8 水路工事	管水路(鋼管)	管種等の適用範囲は原則として下記による。		
	管 種	JIS G 3443-1 (水輸送用塗覆装鋼管-第1部:直管) WSP A-101-2009 (農業用プラスチック被覆鋼管)		
	寸 法	80A～3500A		
	塗覆装方法	管 外 面 <u>長寿命形プラスチック被覆とする。</u> 管 内 面 エポキシ樹脂塗装とする。 <u>なお、塗覆装方法の詳細は、別表カのとおりとする。</u>		
	接 合 法	突き合わせ溶接継手とする。		
	工 法	通常の開削による布設工法とする。		
	管路の範囲	導水管、送水管及び配水管とし、配水池、ポンプなどの端部施設との接続部までとする。		

管理方式			測定箇所標準図	摘 要
管理図表によるもの(様式2-1、2-2)	結果一覧表によるもの(様式3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
				[略]

管布設 ～ 素地調整 [略]

管理方式			測定箇所標準図	摘 要
管理図表によるもの(様式2-1、2-2)	結果一覧表によるもの(様式3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
[略]	[略]	[略]	[略]	厚さ(T)の( )は、均しコンクリートの場合であり、幅(B)の( )は砂基礎及び均しコンクリートの場合。管水路の基礎は「8 水路工事の管水路基礎(砂基礎等)」による。

コンクリート付帯構造物 コンクリート基礎 コンクリート側溝 コンクリート管渠 横断構造物 コンクリート擁壁 その他上記に準ずるもの ～ 鉄筋組立 [略]

2 法面保護工事 ～ 7 農道工事 [略]

8 水路工事

開水路(現場打) ～ 管水路(硬質ポリ塩化ビニル管) [略]

工種	項目	管理基準値(mm)	(参考)規格値(mm)	測定基準
8 水路工事	管水路(鋼管)	管種等の適用範囲は原則として下記による。		
	管 種	JIS G 3443-1 (水輸送用塗覆装鋼管-第1部:直管) WSP A-101-2009 (農業用プラスチック被覆鋼管)		
	寸 法	80A～3500A		
	塗覆装方法	管 外 面 <u>プラスチック被覆</u> 管 内 面 エポキシ樹脂塗装とする。 <u>[新設]</u>		
	接 合 法	突き合わせ溶接継手とする。		
	工 法	通常の開削による布設工法とする。		
	管路の範囲	導水管、送水管及び配水管とし、配水池、ポンプなどの端部施設との接続部までとする。		

管理方式			測定箇所標準図	摘 要
管理図表によるもの(様式2-1、2-2)	結果一覧表によるもの(様式3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
				[略]

管布設 ～ 素地調整 [略]

工種	項目	管理基準値(mm)	(参考)規格値(mm)	測定基準	
8 水路工事	エポキシ樹脂塗装	外観	[略]	[略]	
		膜厚	最低膜厚は、別表カ又は特記仕様書に規定する膜厚を下回ってはならない。	[略]	
		ピンホール	[略]	[略]	
		付着性	[略]		
	ジョイントコート	焼損	[略]		[略]
		両端のめくれ	[略]		
		ふくれ	[略]		
		工場被覆部との重ね代(a)	[略]		
		ピンホール	[略]		[略]
		膜厚	別表カのとおり1.5mm以上 ただし、加熱収縮後の厚さとする。		[略]

管理方式			測定箇所標準位置図及び測定要領	摘要
管理図表によるもの (様式2-1、2-2)	結果一覧表によるもの (様式3-2)	点検表によるもの (様式3-3)		
[略]	[略]	[略]		[略]
[略]	[略]	[略]	[略]	
[略]	[略]	[略]	[略]	
[略]	[略]	[略]	[略]	
[略]	[略]	[略]	[略]	
[略]	[略]	[略]	[略]	
[略]	[略]	[略]	[略]	

管水路（埋設とう性管）たわみ率 ～ シールド工事（一次覆工） コンクリートセグメント 鋼製セグメント [略]

工種	項目	管理基準値(mm)	(参考)規格値(mm)	測定基準	
8 水路工事	エポキシ樹脂塗装	外観	[略]	[略]	
		膜厚	最低膜厚は特記仕様書に規定する膜厚を下回ってはならない。	[略]	
		ピンホール	[略]	[略]	
		付着性	[略]		
	ジョイントコート	焼損	[略]		[略]
		両端のめくれ	[略]		
		ふくれ	[略]		
		工場被覆部との重ね代(a)	[略]		
		ピンホール	[略]		[略]
		膜厚	1.5mm以上 ただし、加熱収縮後		[略]

管理方式			測定箇所標準位置図及び測定要領	摘要
管理図表によるもの (様式2-1、2-2)	結果一覧表によるもの (様式3-2)	点検表によるもの (様式3-3)		
[略]	[略]	[略]		[略]
[略]	[略]	[略]	[略]	
[略]	[略]	[略]	[略]	
[略]	[略]	[略]	[略]	
[略]	[略]	[略]	[略]	
[略]	[略]	[略]	[略]	
[略]	[略]	[略]	[略]	
[略]	[略]	[略]	[略]	

管水路（埋設とう性管）たわみ率 ～ シールド工事（一次覆工） コンクリートセグメント 鋼製セグメント [略]

工種	項目	管理基準値(mm)	(参考)規格値(mm)	測定基準	
8 水路工事	シールド工事 (二次覆工) 既製管覆工	基準高 (V)	既製管挿入工 ⊕ 20	[略]	
		推進工事	⊕ 30		
	推進工事	中心線のズレ(e)	[略]		[略]
		ジョイント間隔 (Z)	[略]		[略]
		施工延長	[略]		[略]
たわみ率	[略]	[略]	[略]		

工種	項目	管理基準値(mm)	(参考)規格値(mm)	測定基準	
8 水路工事	シールド工事 (二次覆工) 既製管覆工	基準高 (V)	⊕ 20 (⊕ 30)	[略]	
		推進工事	⊕ 30 (⊕ 50)		
	推進工事	中心線のズレ(e)	[略]		[略]
		ジョイント間隔 (Z)	[略]		[略]
		施工延長	[略]		[略]
たわみ率	[略]	[略]	[略]		

管理方式			測定箇所標準位置 図及び測定要領	摘要
管理図表によるもの (様式 2-1、2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-2)	点検表によるもの (様式 3-3)		
[略]	[略]	[略]	[略]	Vの測定は管底(V <sub>1</sub> )を原則とし、測定次期は完了時とする。

管理方式			測定箇所標準位置 図及び測定要領	摘要
管理図表によるもの (様式 2-1、2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-2)	点検表によるもの (様式 3-3)		
[略]	[略]	[略]	[略]	Vの測定は管底(V <sub>1</sub> )を原則とし、測定次期は完了時とする。 基準高(V)の( )は推進工事の場合。

9 河川護岸工事 ～ 14 ため池工事 [略]

別表ア 基礎杭打工 偏心管理基準値 [略]

別表イ 管水路(コンクリート二次製品)のジョイント間隔管理基準値

(単位: mm)

呼び径 (mm)	JIS A 5372 RC管 (B形管)			JIS A 5372 RC管 (NB形管)	
	管理基準値	(参考)規格値		管理基準値	(参考)規格値
		8管水路工事 良質地盤	8管水路工事 軟弱地盤		
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

注) 1・2 [略]

3. 接合時の測定は、原則として管の内から測定するものとする。ただし、呼び径700mm以下の場合は、管の外から確認してもよい。また、埋戻後の測定は、原則として呼び径800mm以上に適用する。

なお、「埋戻後」とは、特に指示のない限り、舗装(表層、上層路盤、下層路盤)を除いた埋戻完了時点とする。

4・5 [略]

9 河川護岸工事 ～ 14 ため池工事 [略]

別表ア 基礎杭打工 偏心管理基準値 [略]

別表イ 管水路(コンクリート二次製品)のジョイント間隔管理基準値

(単位: mm)

呼び径 (mm)	JIS A 5372 RC管 (B形管)			JIS A 5372 RC管 (NB形管)	
	管理基準値	(参考)規格値		管理基準値	(参考)規格値
		8管水路工事 良質地盤	8管水路工事 軟弱地盤		
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

注) 1・2 [略]

3. 接合時の測定は、原則として管の内から測定するものとする。ただし、呼び径700mm以下の場合は、管の外から確認してもよい。また、埋戻後の測定は、原則として呼び径700mm以下の測定は必要ない。

なお、「埋戻後」とは、特に指示のない限り、舗装(表層、上層路盤、下層路盤)を除いた埋戻完了時点とする。

4・5 [略]

別表ウ 管水路（ダクタイル鋳鉄管）ジョイント間隔管理基準値

(単位：mm)

規 格	JIS G 5526・5527 及び JDPG G 1027		JIS G 5526・5527 及び JDPG G 1027・1029	
	8 管水路工事 K形		8 管水路工事 T形（直管）	
呼び径 (mm)	管理基準値	(参考)規格値	管理基準値	(参考)規格値
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

(単位：mm)

規 格	JIS G 5526・5527 及び JDPG G 1027・1029		JIS G 5526・5527 及び JDPG G 1029		
	8 管水路工事 T形（異形管）		8 管水路工事 U形		
呼び径 (mm)	管理基準値	(参考)規格値	標準値	管理基準値	(参考)規格値
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

注) 1・2 [略]

3. 接合時の測定は、原則として管の内から測定するものとする。ただし、呼び径700mm以下の場合、管の外から確認してもよい。また、埋戻後の測定は、原則として呼び径800mm以上に適用する。

なお、「埋戻後」とは、特に指示のない限り、舗装（表層、上層路盤、下層路盤）を除いた埋戻完了時点とする。

4～8 [略]

別表エ 管水路（強化プラスチック複合管）ジョイント間隔管理基準値

(単位：mm)

規 格	JIS A 5350			
	B形及び T形			
呼び径 (mm)	標準値	管理基準値	(参考)規格値	
			良質地盤	軟弱地盤
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

(単位：mm)

規 格	JIS A 5350			
	C形			
呼び径 (mm)	標準値	管理基準値	(参考)規格値	
			良質地盤	軟弱地盤
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

(単位：mm)

規 格	JIS A 5350			
	D形			
呼び径 (mm)	標準値	管理基準値	(参考)規格値	
			良質地盤	軟弱地盤
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

注) 1・2 [略]

3. 接合時の測定は、原則として管の内から測定するものとする。ただし、呼び径700mm以下の場合、管の外から確認してもよい。また、埋戻後の測定は、原則として呼び径800mm以上に適用する。

なお、「埋戻後」とは、特に指示のない限り、舗装（表層、上層路盤、下層路盤）を除いた埋戻完了時点とする。

別表ウ 管水路（ダクタイル鋳鉄管）ジョイント間隔管理基準値

(単位：mm)

規 格	JIS G 5526・5527 及び JDPG G 1027		JIS G 5526・5527 及び JDPG G 1027・1029	
	8 管水路工事 K形		8 管水路工事 T形（直管）	
呼び径 (mm)	管理基準値	(参考)規格値	管理基準値	(参考)規格値
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

(単位：mm)

規 格	JIS G 5526・5527 及び JDPG G 1027・1029		JIS G 5526・5527 及び JDPG G 1029		
	8 管水路工事 T形（異形管）		8 管水路工事 U形		
呼び径 (mm)	管理基準値	(参考)規格値	標準値	管理基準値	(参考)規格値
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

注) 1・2 [略]

3. 接合時の測定は、原則として管の内から測定するものとする。ただし、呼び径700mm以下の場合、管の外から確認してもよい。また、埋戻後の測定は、原則として呼び径700mm以下の測定は必要ない。

なお、「埋戻後」とは、特に指示のない限り、舗装（表層、上層路盤、下層路盤）を除いた埋戻完了時点とする。

4～8 [略]

別表エ 管水路（強化プラスチック複合管）ジョイント間隔管理基準値

(単位：mm)

規 格	JIS A 5350			
	B形及び T形			
呼び径 (mm)	標準値	管理基準値	(参考)規格値	
			良質地盤	軟弱地盤
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

(単位：mm)

規 格	JIS A 5350			
	C形			
呼び径 (mm)	標準値	管理基準値	(参考)規格値	
			良質地盤	軟弱地盤
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

(単位：mm)

規 格	JIS A 5350			
	D形			
呼び径 (mm)	標準値	管理基準値	(参考)規格値	
			良質地盤	軟弱地盤
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

注) 1・2 [略]

3. 接合時の測定は、原則として管の内から測定するものとする。ただし、呼び径700mm以下の場合、管の外から確認してもよい。また、埋戻後の測定は、原則として呼び径700mm以下の測定は必要ない。

なお、「埋戻後」とは、特に指示のない限り、舗装（表層、上層路盤、下層路盤）を除いた埋戻完了時点とする。

4～6 [略]

別表オ 放射線透過試験による点検の項目と判定基準 [略]

別表カ 塗覆装の方式及びその厚さ [略]

種別	塗覆装方式	最小厚さ (mm)
直管	[略]	[略]
テーパー付き直管 異形管	【外面塗装】 「水輸送用塗覆装鋼管」第3部： <u>長寿命形外面プラスチック被覆</u>	[略]
現場溶接部	[略]	[略]
	[略]	[略]
[略]		

第3項 撮影記録による出来形管理 [略]

4～6 [略]

別表オ 放射線透過試験による点検の項目と判定基準 [略]

別表カ 塗覆装の方式及びその厚さ

種別	塗覆装方式	最小厚さ (mm)
直管	[略]	[略]
テーパー付き直管 異形管	【外面塗装】 「水輸送用塗覆装鋼管」第3部： <u>外面プラスチック被覆</u>	[略]
現場溶接部	[略]	[略]
	[略]	[略]
[略]		

第3項 撮影記録による出来形管理 [略]

改正後

現行

第4項 品質管理

第4項 品質管理

1 コンクリート関係

工種	区分	試験(測定)項目	試験方法	試験(測定)基準	(参考)規格値	管理方式	処置
コンクリート	(1) 材 料	セメントの物理試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		骨材のふるい分け試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		骨材の単位容積質量試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		細骨材の密度及び吸水率試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		粗骨材の密度及び吸水率試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		粗骨材のすりへり試験	[略]	[略]	40%以下 舗装コンクリート 35%以下	[略]	[略]
		骨材の微粒分量試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		粗骨材中の軟石量試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		骨材中の粘土塊量試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		粗骨材の塩化物イオン含有量試験(細骨材に海砂を使用する場合)	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		砂の有機不純物量	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		骨材の安定性試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		骨材のアルカリシリカ反応性試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		配合試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

(2) 施工 [略]

2 土質関係 ~ 4 アスファルト関係 [略]

5 プレキャストコンクリート製品及び鋼材関係

(1) プレキャストコンクリート製品関係

種 類	規 格	試験方法	標準ロット数	(参考) 規格値	管理方式	処 置
無筋コンクリート管及び鉄筋コンクリート管	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
遠心力鉄筋コンクリート管 (ヒューム管)	[略]	[略]	[略]			
遠心力鉄筋コンクリート杭	[略]	[略]	[略]			
プレテンション方式遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC 杭)	[略]	[略]	[略]			
コンクリート矢板	[略]	[略]	[略]			
鉄筋コンクリートフリユーム及び鉄筋コンクリートベンチフリユーム	[略]	[略]	[略]			
鉄筋コンクリート組立土止め	[略]	[略]	[略]			
鉄筋コンクリート U 形 (U 字溝)	[略]	[略]	[略]			
道路用鉄筋コンクリート側溝	[略]	[略]	[略]			
舗装用コンクリート平板	[略]	[略]	[略]			
コンクリート境界ブロック (地先境界及び歩車道境界)	[略]	[略]	[略]			
コンクリート L 形及び鉄筋コンクリート L 形	[略]	[略]	[略]			
組合せ暗渠ブロック	[略]	[略]	[略]			
コンクリート積みブロック	[略]	[略]	[略]			
建築用コンクリートブロック	[略]	[略]	[略]			

(2) 鋼材関係

種 類	規 格	試験方法	試 験 項 目	(参考) 規格値	管理方式	処 置
鋼管杭	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
H 形鋼杭	[略]	[略]	[略]			
熱間圧延鋼矢板	[略]	[略]	[略]			
一般構造用圧延鋼材	[略]	[略]	[略]			
再生鋼材	[略]	[略]	[略]			
鉄筋コンクリート用棒鋼	[略]	[略]	[略]			

6 その他の二次製品 [略]

改正後

現行

1 コンクリート関係							
工種	区分	試験(測定)項目	試験方法	試験(測定)基準	(参考)規格値	管理方式	処置
コンクリート	(1) 材料	セメントの物理試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		骨材のふるい分け試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		骨材の単位容積質量試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		細骨材の密度及び吸水率試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		粗骨材の密度及び吸水率試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		粗骨材のすりへり試験	[略]	[略]	[略]	砕石 40%以下 砂利 35%以下 舗装コンクリート 35%以下 ただし、積雪寒冷地の舗装コンクリートの場合は25%以下	[略]
		骨材の微粒分量試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		粗骨材中の軟石量試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		骨材中の粘土塊量試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		粗骨材の塩化物イオン含有量試験(細骨材に海砂を使用する場合)	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		砂の有機不純物量	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		骨材の安定性試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
		骨材のアルカリンシカ反応性試験	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
配合試験			[略]			[略]	
(2) 施工 [略]							
2 土質関係 ～ 4 アスファルト関係 [略]							

5 プレキャストコンクリート製品及び鋼材関係

(1) プレキャストコンクリート製品関係

種 類	規 格	試験方法	標準ロット数	試験(測定)基準	管理方式	処 置
無筋コンクリート管及び鉄筋コンクリート管	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
遠心力鉄筋コンクリート管 (ヒューム管)	[略]	[略]	[略]			
遠心力鉄筋コンクリート杭	[略]	[略]	[略]			
プレテンション方式遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC 杭)	[略]	[略]	[略]			
コンクリート矢板	[略]	[略]	[略]			
鉄筋コンクリートフリユーム及び鉄筋コンクリートベンチフリユーム	[略]	[略]	[略]			
鉄筋コンクリート組立土止め	[略]	[略]	[略]			
鉄筋コンクリート U 形 (U 字溝)	[略]	[略]	[略]			
道路用鉄筋コンクリート側溝	[略]	[略]	[略]			
舗装用コンクリート平板	[略]	[略]	[略]			
コンクリート境界ブロック (地先境界及び歩車道境界)	[略]	[略]	[略]			
コンクリート L 形及び鉄筋コンクリート L 形	[略]	[略]	[略]			
組合せ暗渠ブロック	[略]	[略]	[略]			
コンクリート積みブロック	[略]	[略]	[略]			
建築用コンクリートブロック	[略]	[略]	[略]			

(2) 鋼材関係

種 類	規 格	試験方法	試 験 項 目	試験(測定)基準	管理方式	処 置
鋼管杭	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
H 形鋼杭	[略]	[略]	[略]			
熱間圧延鋼矢板	[略]	[略]	[略]			
一般構造用圧延鋼材	[略]	[略]	[略]			
再生鋼材	[略]	[略]	[略]			
鉄筋コンクリート用棒鋼	[略]	[略]	[略]			

6 その他の二次製品 [略]

改正後	現 行
<p>[品質管理参考資料]</p> <p>1 ～ 6 【略】</p> <p>7 土木コンクリート構造物の品質確保・耐久性向上に係る調査等</p> <p>(1) テストハンマーによる強度推定調査</p> <p>1) ～ 2) 【略】</p> <p>3) 測定</p> <p>① 測定方法</p> <p>「硬化コンクリートのテストハンマー強度の試験方法 <u>(案)</u> (J S C E - G 5 0 4 - 2 0 <u>1.3</u>)」により実施するものとする。(「コンクリート標準示方書 <u>(規準編)</u>」に記載。)</p> <p>② ～ ④ 【略】</p> <p>(2) 圧縮強度試験の実施</p> <p>「テストハンマーによる強度推定調査」による再調査の結果、平均強度が所定の強度を満足しない場合、もしくは1箇所の強度が設計強度の85%を下回った場合は、以下により圧縮強度試験を実施しなければならない。</p> <p>1) 【略】</p> <p>2) 圧縮強度試験</p> <p>① 【略】</p> <p>② 圧縮強度試験の立会い</p> <p>圧縮強度試験の実施にあつては、監督職員及び<u>受注者</u>が立会いの<u>上</u>、実施するものとする。</p>	<p>[品質管理参考資料]</p> <p>1 ～ 6 【略】</p> <p>7 土木コンクリート構造物の品質確保・耐久性向上に係る調査等</p> <p>(1) テストハンマーによる強度推定調査</p> <p>1) ～ 2) 【略】</p> <p>3) 測定</p> <p>① 測定方法</p> <p>「硬化コンクリートのテストハンマー強度の試験方法 <u>  </u> (J S C E - G 5 0 4 <u>  </u>)」により実施するものとする。(「コンクリート標準示方書 <u>(基準編)</u>」に記載。)</p> <p>② ～ ④ 【略】</p> <p>(2) 圧縮強度試験の実施</p> <p><u>(1)</u> 「テストハンマーによる強度推定調査」による再調査の結果、平均強度が所定の強度を満足しない場合、もしくは1箇所の強度が設計強度の85%を下回った場合は、以下により圧縮強度試験を実施しなければならない。</p> <p>1) 【略】</p> <p>2) 圧縮強度試験</p> <p>① 【略】</p> <p>② 圧縮強度試験の立会い</p> <p>圧縮強度試験の実施にあつては、監督職員及び<u>請負者</u>が立会いの<u>うえ</u>実施するものとする。</p>

別添様式-1

【新設】

テストハンマーによる強度推定調査票(1)

工事名			
受注者名			
構造物名	(工種・種別・細別等構造物が判断出来る名称)		
現場代理人名			
主任技術者名			
監理技術者名			
測定者名			
位置			
構造物形式			
構造物寸法			
竣工年月日			
適用仕様書			
コンクリートの種類			
コンクリートの種類	N/mm <sup>2</sup>	コンクリートの呼び強度	N/mm <sup>2</sup>
海岸からの距離	海上、海岸沿い、海岸から km		
周辺環境①	工場、住宅、商業地、農地、山地、その他( )		
周辺環境②	普通地、雪寒地、その他( )		
直下周辺環境	河川・海、道路、その他( )		
<p>構造物位置図(1/50000)を標準とする。</p> <p>添付しない場合は (別添資料-〇参照)と記入し、資料提出</p>			

改正後	現 行
<p style="text-align: center;">テストハンマーによる強度推定調査票(2)</p> <p style="text-align: center;">構造物名 (工種・種別・細別等構造物が判断できる名称)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 20px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">一般図、立会図等</p> <p style="text-align: center;">添付しない場合は (別添資料一〇参照)と記入し、資料提出</p> </div>	<p style="text-align: center;">【新設】</p>
<p style="text-align: center;">テストハンマーによる強度推定調査票(3)</p> <p style="text-align: center;">構造物名 (工種・種別・細別等構造物が判断できる名称)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 20px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">全景写真</p> <p style="text-align: center;">添付しない場合は (別添資料一〇参照)と記入し、資料提出</p> </div>	<p style="text-align: center;">【新設】</p>

テストハンマーによる強度推定調査票(4)

構造物名 (工種・種別・細別等構造物が判断できる名称)

調査箇所					
推定強度 (N/mm <sup>2</sup> )					
反発硬度					
打撃方向 (補正值)	( )	( )	( )	( )	( )
乾燥状態 (補正值)	・乾燥	・乾燥	・乾燥	・乾燥	・乾燥
	・湿っている	・湿っている	・湿っている	・湿っている	・湿っている
	・塗れている	・塗れている	・塗れている	・塗れている	・塗れている
	( )	( )	( )	( )	( )
材齢	日	日	日	日	日
(補正值)	( )	( )	( )	( )	( )
推定強度結果の最大値					N/mm <sup>2</sup>
推定強度結果の最小値					N/mm <sup>2</sup>
推定強度結果の最大値と最小値の差					N/mm <sup>2</sup>

【新設】

改 正 後

現 行

テストハンマーによる強度推定調査票(5)

構造物名 (工種・種別・細別等構造物が判断できる名称)

強度測定結果

添付しない場合は  
(別添資料一〇参照)と記入し、資料提出

【新設】

テストハンマーによる強度推定調査票(6)

— コア採取による圧縮強度試験 —

コンクリートの圧縮試験結果

材齢28日圧縮強度試験	1 本目の試験結果	
同	2 本目の試験結果	
同	3 本目の試験結果	
同	3 本の平均値	
【備 考】		

【新設】

別添様式-2

【新設】

## ひびわれ調査票(1)

工事名			
受注者名			
構造物名	(工種・種別・細別等構造物が判断出来る名称)		
現場代理人名			
主任技術者名			
監理技術者名			
測定者名			
位置	測定NO		
構造物形式			
構造物寸法			
竣工年月日	平成 年 月 日		
適用仕様書			
コンクリートの種類			
コンクリートの 設計基準強度	N/mm <sup>2</sup>	コンクリート の呼び強度	N/mm <sup>2</sup>
海岸からの距離	海上、海岸沿い、海岸から	km	
周辺環境①	工場、住宅、商業地、農地、山地、その他( )		
周辺環境②	普通地、雪寒地、その他( )		
直下周辺環境	河川・海、道路、その他( )		
<p>構造物位置図(1/50000)を標準とする。</p> <p>添付しない場合は (別添資料-〇参照)と記入し、資料提出</p>			

改正後

現 行

ひびわれ調査票(2)

構造物名 (工種・種別・細別等構造物が判断できる名称)

構造物一般図

添付しない場合は  
(別添資料一〇参照)と記入し、資料提出

【新設】

ひびわれ調査票(3)

ひびわれ	有 . 無	本数: 1~2本、3~5本、多数 ひび割れ総延長 約 m 最大ひび割れ幅(〇で囲む) 〇. 2mm以下、〇. 3mm以下、 〇. 4mm以下、〇. 5mm以下、 〇. 6mm以下、〇. 8mm以下、 _____ mm
		発生時期(〇で囲む)
		数時間~1日、数日、数10日以上、不明
		規則性: 有、無
		形態: 網状、表層、貫通、表層or貫通
		方向: 主鉄筋方向、直角方向、両方向、鉄筋とは無関係

【新設】

改正後	現 行
<p style="text-align: center;">ひびわれ調査票(4)</p> <p style="text-align: center;">構造物名 (工種・種別・細別等構造物が判断できる名称)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">ひび割れ発生状況のスケッチ図</p> <p style="text-align: center;">添付しない場合は (別添資料一〇参照)と記入し、資料提出</p> </div>	<p style="text-align: center;">【新設】</p>
<p style="text-align: center;">ひびわれ調査票(5)</p> <p style="text-align: center;">構造物名 (工種・種別・細別等構造物が判断できる名称)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">ひび割れ発生箇所の写真</p> <p style="text-align: center;">添付しない場合は (別添資料一〇参照)と記入し、資料提出</p> </div>	<p style="text-align: center;">【新設】</p>
<p>【削る】</p> <p><u>8</u> レディーミクストコンクリート単位水量測定要領 (案) 【略】</p> <p>第5項、第6項 【略】</p>	<p>8 管更正工法に係る施工管理について (参考) 【略】</p> <p><u>9</u> レディーミクストコンクリート単位水量測定要領 (案) 【略】</p> <p>第5項、第6項 【略】</p>